

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 9 月 21 日 (2017.9.21)

【公表番号】特表 2016-531076 (P2016-531076A)
 【公表日】平成 28 年 10 月 6 日 (2016.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-058
 【出願番号】特願 2016-536319 (P2016-536319)
 【国際特許分類】

C 03 B 17/06 (2006.01)

C 03 B 18/18 (2006.01)

【F I】

C 03 B 17/06

C 03 B 18/18

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガラスシートを作製する方法であって、
 溶融ガラス成形装置を収容するための、第 1 の側壁と第 2 の側壁とを備えたエンクロージャを、既定の熱プロファイルに従って加熱するステップ、
 を有してなり、前記エンクロージャを加熱する前記ステップが、前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁とのうちの少なくとも一方の少なくとも一部分を、少なくとも 1 つの誘導加熱システムで加熱するステップを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 の側壁および前記第 2 の側壁の、少なくとも一部分が、誘導加熱を受けやすいものでありかつ前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムに熱的に直接結合されていることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムが、該少なくとも 1 つの誘導加熱システムと前記第 1 の側壁および前記第 2 の側壁の少なくとも一方との間に位置付けられた、中間セクタに熱的に直接結合されていることを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムが、断熱材に直接埋め込まれた少なくとも 1 つの誘導コイルを備えていることを特徴とする請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 5】

前記エンクロージャを加熱する前記ステップが、前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁とのうちの少なくとも一方の少なくとも一部分を、少なくとも 1 つ抵抗加熱ロッドで加熱するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 1 から 4 いずれか 1 項記載の方法。

【請求項 6】

ガラスシートを作製するプロセスにおいて有用な装置であって、
 溶融ガラス成形装置を収容するための、第 1 の側壁と第 2 の側壁とを備えたエンクロージャ、および、
 前記エンクロージャ内に位置している、溶融ガラス成形装置、

を備え、前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁とのうちの少なくとも一方の少なくとも一部分にエネルギーを熱的に結合させるように構成された、少なくとも 1 つの誘導加熱システムをさらに備えていることを特徴とする装置。

【請求項 7】

前記第 1 の側壁および前記第 2 の側壁の少なくとも一部分が、誘導加熱を受けやすいものでありかつ前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムに熱的に直接結合されていることを特徴とする請求項 6 記載の装置。

【請求項 8】

前記エンクロージャが、誘導加熱を受けやすい上部をさらに備え、該上部が、少なくとも 1 つの誘導加熱システムに熱的に直接結合されていることを特徴とする請求項 6 または 7 記載の装置。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムが、該少なくとも 1 つの誘導加熱システムと前記第 1 の側壁および前記第 2 の側壁の少なくとも一方との間に位置付けられた、中間セセプタに熱的に直接結合されていることを特徴とする請求項 6 から 8 いずれか 1 項記載の装置。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの誘導加熱システムが、断熱材に直接埋め込まれた少なくとも 1 つの誘導コイルを備えていることを特徴とする請求項 6 から 9 いずれか 1 項記載の装置。